

OHMマウスユーティリティ ダウンロード

ユーティリティソフトウェアご利用につきまして

- 本製品に関する保証の内容は製品に添付された保証書の通りであります。
- 弊社は本ユーティリティ利用に際して発生した不具合による損害に対して、いかなる保証も行わないものとします。

対応OS	ユーティリティ
WindowsXP,Vista <small>Windows98,Me,2000はマイクロソフト社のサポートが終了しましたのでサポート外となります。XP,Vista</small>	バージョン1.0 更新日2001-04-10 サイズ1,183KB

メモ: windowsXPをお使いのお客様で複数のユーザを設定されている場合は、マウスの接続やユーティリティソフトセットアップ時にコンピュータの管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログインする必要があります。

通常個人で新たなユーザーを作成されていない場合はコンピュータの管理者権限を有しておりますので変更の必要はございません。

なお、インストール後は全ユーザーで使用できるようになります。また設定はユーザ毎に保管されません。

ここでは便宜的に「コンピュータの管理者」と表示します。

•WindowsXP,Vistaでは、複数のユーザーを設定されている場合、コンピュータ管理者でのログインが必要です。

インストール方法

- 本ユーティリティは、3ボタンのマウスのホイールボタンに別の機能を持たせたり、スクロールの調節をするものです。
また、5ボタンのマウスの場合、左右のクリックボタン以外の第4、5のボタンに別の機能を持たせるものです。

PS/2タイプ(OS:WindowsXP,Vista共通)

1. 旧ユーティリティがあればあらかじめアンインストールしておいてください。
WindowsXP,Vistaの場合は、アンインストールの後、再起動を促すダイアログで、かならず「はい」を選択してください。
2. パソコンの電源を切った状態でマウスを接続し、パソコンを起動します。
3. ダウンロードしたファイルを実行すると同じ場所にOHMmouseというフォルダが作成されます。
4. そのフォルダ内にあるsetup.exeを実行しますとインストーラーが起動します。
5. あとは画面の指示にしたがって操作を進めて下さい。

USBタイプ(OS:WindowsXP,Vista)

1. 旧ユーティリティがあればあらかじめアンインストールしておいてください。
アンインストールの後、再起動を促すダイアログが出ますが、かならず「はい」を選択してください。
2. パソコンの電源をオンにします。
3. USBマウスを接続します。
4. マウスが動くことをご確認下さい。
5. ダウンロードしたファイルを実行すると同じ場所にOHMmouseというフォルダが作成されます。
6. そのフォルダ内にあるsetup.exeを実行しますとインストーラーが起動します。
7. あとは画面の指示にしたがって操作を進めて下さい。

OHMマウスユーティリティ インストール手順

マウスユーティリティをインストールする手順をご説明致します。

1. ダウンロードした OHMmouse.exe をダブルクリックします。
2. OHMmouse というフォルダが作成され、
3. その中の setup.exe が自動的に起動されます。
4. そして下の様な画面が表示されます。



日本語を選択して「次へ>」をクリックします。



表示の内容を上画面と同じにして「次へ>」をクリックします。



マニュアルに目を通していただき「次へ>」をクリックします。



- ・ 3 ボタンは3 Dブラウザマウスを選択して「次へ>」をクリックします。
- ・ 5 ボタンは4 Dブラウザマウスを選択して「次へ>」をクリックします。



接続方法を選択して「次へ>」をクリックします。

USB 接続のみのパソコンではこの画面は表示されません。



プログラムの保存先を選択して「次へ>」をクリックします。変更しない事を推奨します。



プログラムフォルダの名前を選択して「次へ>」をクリックします。変更しない事を推奨します。



表示の内容が上の画面と同じ事を確認して「次へ>」をクリックします。



再起動を選択をして「終了」をクリックします。

- パソコンが再起動します。
- 再起動し終わるまで待ちます。

インストール完了後は OHMmouse のフォルダは削除して構いません。
マウスユーティリティの設定画面を見てみましょう。

OHMマウスユーティリティ起動・設定

OHMマウスユーティリティ(ブラウザマウス)の起動・設定する手順をご説明致します。



1. スタートメニューをクリックします。
2. プログラムをクリックします。



3. BrowserMouse のメニューの中の BrowserMouse1.0 をクリックします。

4. タスクバーに右のようなアイコンが増えます。
5. そのアイコンをクリックします。
6. すると下の様な画面が表示されます。



設定の内容に関してはお使いになるアプリケーションに合わせて設定を変更して下さい。



上の「ボタータブ」をクリックするとセンターボタンの設定画面になります。(3ボタンマウスの場合)ホイールを押した時の動作を設定できますのでお好みの操作に合わせてください。

それぞれ適用を押す事で変更が反映されます。

OKを押すと設定プログラムは終了します。

マウス・ユーザーマニュアル

1994-2001 Copyright All Rights Reserved

FCC（米国連邦通信委員会）CLASS B に関するステートメント

注: 本機は FCC 規則第 15 章に定められたクラス B デジタル機器に関する規制要件に基づいて試験が実施され、これに適合するものと認定されています。この規制要件は、住宅設備内で本機を操作する場合の有害な電磁干渉に対し、合理的な保護手段を提供するために設定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、マニュアル手順通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電磁干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、ユーザーは次の一つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- * 受信アンテナの向きや位置を変える。
- * 本機と受信機の距離を離す。
- * 受信機の接続されている回路とは別のコンセントに本機を接続する。
- * 販売店もしくは経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談する。

本機は、FCC 規則第 15 章に準拠しています。操作は次の 2 条項に対応しています。:

- (1) 本機は、有害な電磁干渉を引き起こすものではない。
- (2) 本機は、誤操作を招く干渉を含め、いかなる干渉も認識しなければならない。

1. ハードウェアのインストール

1-1. シリアル・マウスのインストール

マウスをインストールするには、シリアル・ポート(COM1/COM2)を備えたコンピューターが必要です。
マウスをシリアル・ポートに接続してください。

1-2. マウス・ポート(PS/2) コネクタ付マウスのインストール

円形マウス・ポート・コネクタ付マウスをご使用の場合は、コンピューターの電源を切ってから、マウスの接続又は取り外しを行ってください。

1-3. コンボ・マウスのインストール

コンボ・マウスには、PS/2 (DIN 6) ケーブル・コネクタおよび PS/2 -> シリアル(COM 9) ポート・アダプタが付いています。

マウスをコンピューターに接続する前に、ご使用のマウス・ポートの種類を確認してください。

PS/2 port の場合は、オリジナルの PS/2 ケーブル・コネクタに接続してください。

シリアル・ポートの場合は、アダプタをケーブルに接続してからシリアル・ポートに差し込んでください。

1. コンピューターの電源を切ります。
2. コンピューター上で利用可能な 6 ピン円形ポートの場所を確認します。

3. マウス・コネクタを円形マウスポートに差し込みます。
4. コンピューターを再起動します。

1-4.ワイヤレスマウスの選択および ID 設定

受信機のコネクタをコンピューターに差し込み、LED インジケーターが点灯するようにしてください。

受信機の底面にある ID 設定ボタンを押すと、LED ライトが点きます。これでマウスの ID 設定が準備できました。:

4 つあるマウス ID から 1 つを設定します:

ID 1: ID 定義ボタン(マウス背面)を押します。

ID 2: コマンドキーと ID 定義ボタンを同時に押します。

ID 3: ポップアップキーと ID 定義ボタンを同時に押します。

ID 4: ホイールボタンと ID 定義ボタンを同時に押します。

ID を選択し、マウスから信号を送信すると、マウスの受信機がそれを受信、自動検知し、マウスに対応して作業リンケージを実現します。ID 設定を完了すると、受信機の LED インジケーターが、動作するマウスのあらゆる動きにライトの点滅で確認しながら対応していきます。ID を再定義したい場合は、受信機の底面にある ID 設定ボタンを押してから、再度マウス ID 設定を行ってください。

*ご注意ください: バッテリー交換時も、ID の再定義を同様に行ってください。

2. マウス・ドライバのインストール

マウス・ソフトは Windows 95、Windows 98、Windows ME、Windows NT 4.0、および Windows 2000 をサポートします。

Windows NT 4.0 の環境下で任意のソフトウェアをインストールする場合は、インストール前にシステムの提供する修復ディスク・ユティリティ(RDISK.EXE)を使用して、緊急修復ディスクを作成するよう強くお勧めします。

USB マウスは、Windows 98、Windows ME および Windows 2000 の環境下でのみサポートされますのでご注意ください。

マウス・ソフトをインストールするには Setup.exe を実行して下さい。

3. プログラムのアンインストール

コントロールパネルの“プログラムの追加/削除”アイコンをクリックするか、又はウィンドウズ・デスクトップの“スタート”ボタンにある“プログラム”に setup.exe が作成したフォルダから、“アンインストール”アイコンをクリックすると、マウス・ソフトをウィンドウズから削除できます。インストールされているマウス・ソフトを選択し、“削除”ボタンをクリックして下さい。

4. マウス・モードの切り換え

4-1.マウス・ハードウェア・モードの切換え (モード・スイッチを使用する場合)

シリアル・マウスは、マイクロソフト・シリアル・マウスもしくはマウスシステムズ・マウスとして操作できます。マウスの背面に、スライド式スイッチがあります。スイッチは、'MS' と 'PC' の 2 ポジションが可能で、スイッチを'MS' ポジションにセットすると、マウスは 2 ボタン・マイクロソフト・マウスをエミュレートし、'PC' にすると 3 ボタン・マウスシステムズ・マウスをエミュレートします。

4-2.マウス・ハードウェア・モードの切換え（モード・スイッチを使用しない場合）

前項で述べたように、シリアル・マウスはマイクロソフト・シリアル・マウスもしくはマウスシステムズ・マウスとして操作できます。マウスの操作するモードが、これら 2 モードのどちらであるかは、パワーオン初期化の時点で決定されます。パワーオン初期化中に 3 ボタンのいずれか 1 つでも押されると、マウスはマウスシステムズ・マウスをエミュレートし、ボタンが 1 つも押されなければ、マイクロソフト・マウスをエミュレートします。

4-3.マイクロソフト・モード

マウスがマイクロソフト・モードの場合は、左右の 2 ボタンのみ作動し、中央ボタンは無視されます。このモードでは、マウスはマイクロソフト・シリアル・マウスを正確にエミュレートします。

4-4.マウスシステムズ・モード

オート CAD や、マウスシステムズ・マウスで性能強化するその他のソフトを使用する場合は、このエミュレーションを選択して下さい。マウスシステムズ・マウスは 3 ボタンとも作動します。

注: Windows 95 および Windows NT はシリアル'MS'マウス・モードをサポートしますので、パッケージのマウス・ドライバを初めてインストールする際は、マウスを'MS'モードに切り換えることをお勧めします。インストール完了後、コンピューターの再起動時に 'PC'マウス・モードに切り換えることができます。

5. トラブル・シューティング

症状 1: マウスが動かない

解決法 : -ご使用のソフトがマウスをサポートするか確認して下さい。

- マウスがコンピューター背面のシリアル・ポートに接続されているかチェックして下さい。
- マウス・ドライバがシステムにインストールされているか確認して下さい。

症状 2: 画面上のカーソルがある場所から動かない、また動きが不安定である。

解決法 : マウス・ケーブルが切れていたり、ひどくねじれていないかチェックして下さい。ケーブルとマウスの接続箇所を念入りに検査して下さい。

症状 3: カーソルの動きが角で止まり、マウスの動きに反応しなくなった。

解決法 : マウス・ドライバを実行し、マウスの動作モードをチェックして下さい。

症状 4: マウスの動きが、カーソルの動きと一致しない。また移動中に止まったりする。

解決法 : シリコン・ゴム加工のボールとローラーを掃除して下さい。

症状 5: Windows 95 用マウス・タイプを選択し“OK”をクリック後、マウスが使用できない。

解決法 : キーボードを使って現行のウィンドウを閉じ、Windows 95 によるコンピューターの再起動指示が出るのを待ちます。Windows 95 の再起動後、マウスは正常に動作します。

症状 6: マウス・ドライバ・ソフトのインストール時に、画面に表示されるエラーナンバー-115

解決法 : ウィルス検査プログラムが、ファイル名変更防止のためシステム上で使用されているので、このエラーが常に発生します。システム上で実行しているウィルス検査ソフトを停止してから、再度セットアップを実行して下さい。

症状 7: PS/2 ポインティング・デバイスの検知問題

解決法 : マウスがマウス・ポートに接続されても、システムに検知されない場合は、次のステップを試してください。:

- 1) マウス・ポートは、コンピューターの **SETUP** メニューから使用可能となるようにします。**SETUP** メニューに関するコンピューターの資料を確認してください。
- 2) シリアルおよびマウス・ポート・アダプタの両方を備えたマウスの場合は、シリアル・ポートからマウスをコンピューターに接続して下さい。再起動し、マウスが適切に検知されているか確認して下さい。
- 3) パッケージにアダプターが含まれていなかった場合、マウスはあるタイプのポート（シリアル又は **PS/2**）でのみ動作するよう設計されたものです。マウスのサポートするポート・タイプに関してはパッケージをご照会ください。問題が解決しない場合は、コンピューターの製造元から入手可能なコンピューター**BIOS ROM** のアップグレードをチェックして下さい。 **IBM** シンクパッドのようなノート型パソコンは、外部マウス・ポート、およびマウス・ポートに接続される統合ポインティング・スティックの両方を備えています。このタイプのシステムに付属するマウス・ポートで、マウスを動作できない場合は、シリアル・ポートを代用して下さい。

症状 8: その他シリアル・デバイスとのコンフリクト

解決法 : ロジテック・マウスウェアのような、他メーカーが提供するマウス機能付ソフトには、本マウスとコンフリクトする可能性のあるものがあります。こういったソフトは、本マウス・ソフトをインストールする前に削除することを強くお勧めします。

症状 9: ホイール操作の問題

解決法 : マウスにホイールが付いているが、ホイールがスクロールしない場合、次の点を確認して下さい。:

- 1) “ブラウザ・マウス” 又は “マウス・コントロールパネル” のアプリケーションが適切にインストールされているか確認して下さい。システムトレイに “ブラウザ・マウス” や “マウス・コントロールパネル” のアイコンが見つからない場合は、マウス・ソフトを再インストールする必要があります。
- 2) マウス・スクローリング機能付きのアプリケーションには、本マウス機能とコンフリクトするものがあります。本マウス・ソフトをインストールする前に、これらのアプリケーションを削除して下さい。